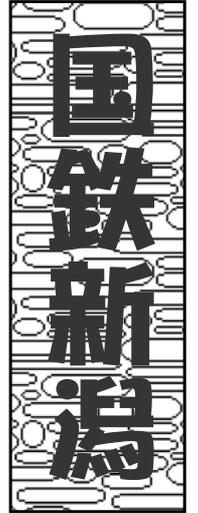




# 闘春



## 安全・安心な鉄道をめざす

国労新潟地方本部 執行委員長

守橋久仁雄

新年のごあいさつを申し上げます。

羽越線事故から一年を迎え、暮れの25日に中央本部・佐藤委員長、東日本本部・伊藤委員長らと事故現場を訪れ亡くなられた方々のご冥福を祈り、献花を捧げました。

防風柵設置で、続いていた45km/h徐行は解除となったが、いまだ事故調の原因特定に至っていません。風に対する『規制』含めた抜本的対策は不十分のままです。 昨年は安全・安心な鉄道をめざした、地本としていくつかの提起を試み、不十分だったと思います。 労働組合の任務として、  
ながら一定の役割を果たしてき  
引き続き職場総点検を基本に運

NO. 589  
発行  
07 1月1日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
守橋久仁雄  
編集責任者  
教宣部



# 全てを結びつけ 陣地を広げて



さて、1047名解雇撤回、一日も早い解決をめざす闘いは、あらたな局面を迎えるなかで、座り込み行動など積極的な取り組みが展開されました。

ILOが早期解決のため援助にのり出す考えを表明し政府に受け入れを迫る第7次勧告を出しました。促進される立場であらたな提訴に踏み切りました。提訴は損害賠償請求権の時効を見据えたものでもあります。

原告は国労と540名の闘争団・遺族の仲間です。全国674自治体意見書採択が示すように『人道的にも早期解決』の声は世論でもあります。”20年を超えてはならない”全ての人たちの共通の願いです。大同団結から真の団結へと歩みを進め、詰めの決戦に全てを尽くすではありませんか。

年が明け、二大選挙が待っています。 勤労国民への容赦ない生活破壊、いじめ政策は許しがたい状況です。『格差社会のどこが悪い』と居直った小泉政権を安倍政権は引き継ぎました。悪政を大元から切り換える絶好のチャンスととらえ、全力で闘いましょう。

安全・安心な鉄道を求め、人権を認めさせ、平和・民主主義を守る闘い全てを結びつけ、陣地を広げて頑張りましょう。

本年もよろしくお願い申し上げます。

